朝一小だより

活気があふれ、心が潤い、みんなが幸せになる学校

℡048-461-0052　http://www.asakadaiichishou.city-asaka.ed.jp/

学校教育目標
・考える子
・やさしい子
・たくましい子

朝霞市立朝霞第一小学校
令和８年１０月３０日
児童数　６００名

一人一人の心にも豊かな実りを！

校長　小林美加



気持ちのよい秋空のもと10月17日（土）に運動会を開催することができました。今年のスローガンの「仲間と一緒に一致団結！全力尽くし　楽しく思い出に残る　運動会」にふさわしく、赤組・青組・黄組の子供達が力を合わせて、笑顔あふれる中で素晴らしい走りや演技、そして力強く団結した応援合戦を見せてくれ、感動で胸がいっぱいになりました。19日（月）にはお昼の放送で、各学年に向けて頑張ったところや素敵だったところについてお話しましたが、一小の校長で本当に幸せだなあと心から思いました。保護者の皆様には、当日までの体調管理等のご協力や子供達の頑張りに対する温かい声援・大きな拍手をいただきまして、本当にありがとうございました。おかげさまで、みんなの心に残る素晴らしい運動会になりました。準備や後片付け等のご協力につきましても、心より感謝申し上げます。

＜運動会の様子の写真＞

さて、秋といえば、実りの季節です。畑ではさまざまな作物が収穫の時を迎えます。植物は、水や栄養、太陽の光を受けながら少しずつ成長し、大きな実りを迎えます。子供達の心も同じです。家族の愛や、「ありがとう」「大丈夫？」「一緒にやろう」といった友達の温かい言葉や行動を受けながら、優しさや思いやりの心が育っていくのだと思います。新米が美味しいこの時期、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉を思い出しました。稲の穂は実が詰まるほど重くなって垂れ下がるように、学問・経験・人徳を備えた立派な人ほど、かえって謙虚



礼儀正しくなるものだ、またそうあるべきだという教えです。本当に豊かな心をもつ人は、成功してもおごらず低姿勢で、自分だけを大切にするのではなく、周りの人を思いやり、相手を尊重することができるのです。運動が得意な子も、勉強が得意な子も、本当に成長した人は威張るのではなく、周りの人を大切にします。そんな子供達であってほしいと思います。

11月も、引き続き「いじめ防止月間」としての取組を行います。まだ、友達とけんかをして嫌な思いをさせてしまったり、傷つくようなチクチク言葉を言ってしまったりと残念な言動が見られます。いじめは相手の心や人権を傷つける行為です。相手の気持ちを想像し、自分と同じように大切な存在として接することが、いじめをなくす第一歩です。子供達には、学習や運動だけではなく、「相手を大切にする心」「違いを認め合う心」「思いやりの心」も大きく実らせてほしいと願っています。自分や友達のよさを認め合い、一人一人の人権が尊重こ[illegible]、たたかかい学校、みんなが幸せになる学校になるよう、教職員一同、力を合わせて努力してまいります。



ご家庭でも、子供達と話し合う機会をつくっていただけたら幸いです。

今月も、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。